三宅正克（みやけまさかつ）
（爽志会）

- 地区要望に対する考えを聞きたい
- トップセールスのポイントを何に置いているのか

質問 地区要望に対する考え方を聞きたい。

市長 行政と地域住民の方々との間で地域課題のすりあわせを行い、要望の実現を目指す。市全域を均衡ある発展を視野に必要性や費用対効果・緊急度などを勘案しながら進める。

質問 今年度の要望件数と、どのような対応を考えているか。

市長 振興会ごと、338項目の要望を頂いた。道路改良に関する要望が多く、現地調査の実施、これまでの経緯を踏まえ実現可能な件については、期間等を説明しながら対応する。

質問 地区センター施設に関する整備要望についてはどうか。

市長 市が整備するものと考えているが、新たな整備投資を行える状況にはない。現状での安全確保等の環境整備に努める。

質問 学校開放施設と生徒のクラブ活動に係わる施設はどうか。

市長 市内45の小中学校で体育館、グラウンドを開放している。夜間照明施設のない東水沢中学校、江刺第一中学校は平成28年度までに設置する。

質問 市長のトップセールスは、何に重点を置いて活動しているか、現状と今後について聞きたい。

市長 企業誘致推進室に専属職員1名を増員、県東京事務所に職員1名を派遣しバックアップ体制を構築するなど効果的に中央省庁や関係諸団体との関係を保った。物販関係のトップセールスは東京、静岡などで、5回実施。企業誘致は、東京・大阪・名古屋でセミナーなどを展開した結果、名古屋から東日本トヨタ関連の拠点的企業の誘致に成功した。今後も積極的に取り組む。

夜間照明施設が待ち望まれる東水沢中学校

千田美津子（ちだ みつこ）
（日本共産党）

- 脳外科や小児科、産婦人科等、安心できる救急医療体制の充実を

質問 医師不足が社会問題となって以来、全国的には大学の医師養成枠も増え、医師不足の解消が期待される。ところが、当市における救急医療の実態は、胆沢病院等含め、後退しているのではないか。

市長 胆沢病院は当圏域の高度医療の拠点だが、医師不足により診療科目縮小が余儀なくされ、産科・小児科・脳神経外科等の手術を要するような救急には、この地域はほとんど対応できない状況だ。

質問 市の地域医療計画には、県立病院に期待する役割として、「県南の周産期医療拠点地域」「三次救急病院」へ県の指定を と訌っており、今後この立場で強力に取り組むべきではないか。

市長 岩手県は、25年度から29年度までの「岩手県保健医療計画」を策定することになっており、その際に、胆江圏域地域医療連携会議で論議する予定。市としても、新たな計画を踏まえて取り組んでいきたい。

質問 今年に入り、全国で餓死や孤独死が相次いで報道されており、働ける年齢層で、かつ複数世帯で餓死や孤立死が連続発生している。日本の保護制度は、本来対象となるべき人の2割程度にしか利用されておらず、膨大な貧困層が放置されている。

当市の生活保護の現状と申請権が十分に保障されているか伺う。

市長 奥州市の生活保護の状況は、21年3月の447世帯569人から、24年6月には、601世帯806人となり、千人当たりの保護率は、4・43%から6・51%に上昇した。稼働年齢層にある世帯主の失業のため、家族全体が保護になる。保護の申請権は十分に保障している。

高度医療の拠点として充実が欠かせない胆沢病院